

国語科学習指導案

1. 日時 平成27年 11月 25日 (水) 第5時限目 (13:45～14:30)
2. 場所 第5学年1組 教室
3. 学年・組 第5学年1組
4. 単元名 作品の良さをショーウィンドウで伝えよう
5. 教材名 「大造じいさんとガン」(棕 鳩十)
6. 単元目標
 - ・大造じいさんとガンに関心をもち、進んで読んだり、作品の叙述を味わったりしながら読み深めようとしている。(関心・意欲・態度)
 - ・作品の特色を伝えようとしたり、友だちと進んで交流したりすることができる。(関心・意欲・態度)
 - ・登場人物の相互関係や心情についての描写や情景描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめることができる。(C読むこと エ)
 - ・友だちと考えを発表し合い交流することで、大造じいさんの残雪への心情の変化について、考えを広げることができる。(C読むこと オ)
 - ・色彩を表す言葉や比喻などの言葉の美しさに気づくことができる。
(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)

7. 単元を貫く言語活動とその特徴

本単元では、「C読むこと」のエ・オの指導事項に重点を置き、「優れた表現に着目しながら読み、作品の良さをショーウィンドウで伝える」ことを、単元を貫く言語活動として位置付けた。

一番心に残った場面や優れた叙述に着目しながら「大造じいさんとガン」を読み、どの叙述が登場人物の心情や相互関係の読み取りにつながるのかを読み解く力と優れた叙述について自分の考えをまとめる力をつけるためにこの言語活動が適していると考えた。

8. 教材観

本単元では、「C読むこと」の言語活動例「エ 本を読んで推薦の文章を書くこと。」を通して、指導事項「エ 登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめること。」を指導する。

「大造じいさんとガン」はガンの頭領「残雪」と「大造じいさん」との間に繰り広げられる激しい闘いを通して感動すべきものに素直に心を動かしている大造じいさんの人間味あふれる姿が描かれている。また、本教材は、わかりやすく場面分けされて物語が展開している。大きく分けて、うなぎつりばりで残雪たちをとらえようとする場面、たにしをばらまいてとらえようとする場面、残雪がはやぶさの襲来から仲間を守る場面、残雪を空に放つ場面の4場面になる。場面の移り変わりの中で、大造じいさんの気持ちも移り変わっていくのが本教材の特徴である。

また、叙述に着目することで、残雪に対する大造じいさんの心情がどのように変化していったのかを読み取ることができると同時に、大造じいさんの心情を読み取る上で、本文の情景を表す言葉にも着目させることによって、より深く気持ちを想像し考える手だてになると考えられる。

9. 児童観 (略)

10. 指導観

大造じいさんとガンの変化を読み取るためには、行動や会話だけでなく「情景描写」という言葉に出会わせ、情景描写からも心情が読み取れることを学ばせていく。情景描写を読みとる力を定着させるためには、情景描写自体の理解と情景が文脈の中で有効に働いていることの理解が必要になってくる。そのために、大造じいさんの気持ちが自然の描写に表現されていること、色の持つイメージが気持ちを表していることに着目させ、読みを深めていきたい。また、単元終末において優れた情景描写を選び、自分の考えをまとめ友だちに伝える言語活動を設定した。選んだ理由や根拠を中心に説明させ、自分にはなかった考えに触れることで、考えを広げたり深めたりさせたい。また、参考になったことやなるほどと思った所、違う所など、グループで学習したことを発表の際に盛り込ませることで、伝えあう力を高めたい。

11. 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
・大造じいさんとガンに関心をもち、進んで読んだり、作品の叙述を味わったりしながら読み深めようとしている。 ・作品の特色を伝えようと友だちと進んで交流しようとしている。	・登場人物の相互関係や心情についての描写や情景描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめている。 ・友だちと考えを発表し合い交流することで、大造じいさんの残雪への心情の変化について、考えを広げている。 ・自分が選んだ優れた表現について、ショーウィンドウにまとめている。	・色彩を表す言葉や比喻などの言葉の美しさに気づいている。

12. 単元の指導と評価の計画

次	時	主な学習活動	指導上の留意点	評価の観点と評価方法
第一次	1	○読む目的を明確にし、学習課題を設定する。 ・教師のモデルを確認し、ショーウィンドウを作って作品を紹介することを知る。	・教師が作成したショーウィンドウを提示し、学習のイメージを持たせる。	【関】 物語を楽しんで読み、学習に意欲的に取り組もうとしている。
第二次	2	☆物語全体を読むためにあらすじをとらえる。 ○物語のあらすじをまとめる。 ・ワークシートを使いまとめる。 ・まとめたものを1つの文につなげる	・ワークシートを使い、あらすじを完成させる。 ・まとめたものをつなげることで、あらすじが書けることを理解させる。	【読】 あらすじのとらえ方を理解し、あらすじをまとめている。

3・4	○第1場面を読み、優れた叙述を読み取る。 ①作戦と結果 ②大造じいさんの心情 ③心情が表現されている優れた叙述 ・優れた叙述に着目し、叙述を基に心情を捉える。 ※「秋の日が輝いて見えるのだ」 ・①～③をワークシートにまとめていく。 ●②③それぞれでグループ交流を行う。	・ワークシートで作戦と結果をまとめる。 ・ガンに対する大造じいさんの気持ちを「ううむ。」から考え、書かせる。 ・情景描写の表現効果に着目させる。 ※ある時とない時でどう違うのか ・美しい情景を想像させ、人物の心情を表していることに気づかせる。 ・自分の理由と比べ、違う所、同じ所を見つけて伝えさせる。	【読】情景描写の表現効果に気づき、情景と心情を想像しながら読んでいる。 【伝】色彩を表す言葉や比喻などの言葉の美しさに気づいている。
5・6	○第2場面を読み、優れた叙述を読み取る。 ①作戦と結果 ②大造じいさんの心情 ③優れた叙述 ・優れた叙述に着目し、叙述を基に心情を捉える。 ※「あかつきの光が、小屋の中にすがすがしく流れ込んできました」 ●②③それぞれでグループ交流を行う。	①ワークシートで作戦と結果をまとめる。 ②ガンに対する大造じいさんの気持ちを、「ううん。」から考えさせる。 ③心情を表した情景描写を抜き書かせ、そこからわかる大造じいさんの心情を考えさせる。 ※ある時とない時でどう違うのか ※色が何を表しているのか ・色の持つイメージが気持ちを表していることにも気づかせる。 ・自分の理由と比べ、違う所、同じ所を見つけ伝えさせる。	【読】情景描写の表現効果に気づき、情景と心情を想像しながら読んでいる。 【伝】色彩を表す言葉や比喻などの言葉の美しさに気づいている。
7・8	○第3場面を読み、優れた叙述を読み取る。 ①作戦と結果 ②大造じいさんの心情 ③優れた叙述 ・じゅうを下してしまった大造じいさんの心情を考える。	・ワークシートで作戦と結果をまとめる。 ・ガンに対する大造じいさんの気持ちを考えさせる。 ・心情を表した情景描写を抜き書かせ、そこからわかる大造じいさんの心情を考えさせる。	【読】情景描写の表現効果に気づき、情景と心情を想像しながら読んでいる。 【伝】色彩を表す言葉や比喻などの言葉の美しさに気づいている。
9	○第4場面を読み、優れた叙述を読み取る。 ・優れた叙述に着目し、叙述を基に心情を捉える。 ※「青くすんだ空を見上げながら」 ※「東の空が真っ赤に燃えて、朝が来ました。」 ※「らんまんとさいたスモモの花が、その羽にふれて雪のように清らかにはらはらと散りました。」 ●②③それぞれでグループ交流を行う。	・1から3場面までを振り返り、残雪に対する大造じいさんの見方の変化に気づかせる。 ・心情を表した情景描写を抜き書きさせ、そこからわかる大造じいさんの心情を書かせる。 ・自分の理由と比べ、違う所、同じ所を見つけ伝えさせる。	【読】情景描写の表現効果に気づき、情景と心情を想像しながら読んでいる。 【伝】色彩を表す言葉や比喻などの言葉の美しさに気づいている。

第三次	10	○優れた叙述を選び、選んだ理由を伝える文章を書く。	・登場人物のどんな気持ちが情景描写に表されているかを考え、時や様子、それまでの大造じいさんの心情も含めて理由を書かせる。	【読】登場人物の行動や会話、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめながら読んでいる。
	11 本時	○選んだ情景描写について話し合う。	・選んだ理由や根拠を中心に説明させ、参考になったことやなるほどと思った所、違う所についても話に盛り込み伝えさせる。	
	12 ・ 13	○物語の中で、お気に入りの場면을3つ選び、理由とともに書く。 ○お気に入りの場面について話し合う。	・登場人物の行動や会話、大造じいさんの残雪に対する気持ちを基に理由を考えさせる。 ・登場人物の行動や会話、大造じいさんの残雪に対する気持ちを考えながら話し合わせる。	
	14	○第3次からの学習をショーウィンドウにまとめ、交流する。	・学習してきた優れた情景描写と、お気に入りの場면을まとめさせる。 ・ショーウィンドウを完成させた感想や、友だちの発表を聞いて気づいたことを交流させる。	

13. 判断基準

観点	十分満足できる姿	概ね満足できる姿	努力を要する児童への支援
国語への関心・意欲・態度	自分の考えを伝えるために進んで読んだり、心情の変化から作品の叙述を味わおうとしたりしている。	自分の考えを伝えるために進んで読んだり、作品の叙述を味わおうとしたりしている	友だちの考えなどを聞きながら、考えが広げられるように示す。
読む能力	根拠の中に登場人物の相互関係などを関連付けながら優れた叙述について自分の考えをまとめている。	根拠を持って、優れた叙述について自分の考えをまとめている。	グループでの話し合いで出された根拠の中から、自分の考えに沿う言葉を引用し、まとめさせる。
読む能力	ショーウィンドウの構成を理解し、全体のつながりと相手の事を意識してまとめている。	ショーウィンドウの構成を理解し、相手の事を意識してまとめている。	教師の作成した例を見せ、ショーウィンドウの構成をイメージしやすくする。
言語についての知識・理解・技能	大造じいさんの心情や場面の様子を表した言葉（色彩）を見つけ、そのよさに気づいている。	大造じいさんの心情や場面の様子を表した言葉（色彩）を見つけている。	色からイメージする気持ちについて聞き、心情や場面の様子を表した言葉だということをイメージしやすくする

14. 本時の展開

(1) 本時の目標

- ・自分が選んだ優れた叙述について、理由や根拠を中心に伝えることができる。
- ・友だちと考えを発表し合い交流することで、大造じいさんの残雪への心情の変化について、考えを広げることができる。

(2) 本時の評価規準

【関】進んで、友だちと考えを交流している。

【読】登場人物の行動や会話、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめながら読んでいる。

(3) 本時の展開

	学習活動	指導上の留意点	評価規準
導入	○本時のめあてを確認する。 「自分が選んだ情景描写について考えを伝えよう」 ・本時の流れを確認する	・めあての確認をして、学習のイメージを持たせる。	
展開	○自分が選んだ優れた叙述についての考えを中心に話し合う。(グループ交流) ①優れた叙述についての考えを伝える。 ②考えを聞いて、どの叙述を選んだのか予想する。 ③選んだ叙述を発表する ④初めに伝えた考えについての交流をする。 ○全体で交流する ・選出した2名の叙述を見せ、どの叙述を選んだのかを考える。 ・考えのどこが良いかについて交流する。	・話し合いが円滑に進むように司会を立てる。 ・教科書を見て、どの叙述かを考えさせる。 ●全員わかった場合 ・分かった理由を答えさせる。(司会が1名指名) ●わからなかった子がいた場合 ・なぜその叙述を選んだか、出題者に理由を伝えさせる。 ・出題者の文章の修正ポイントを考える。 ・今までの大造じいさんの気持ちも含めて書かれていることに気付かせる。	【関】進んで、友だちと考えを交流している。 【読】登場人物の行動や会話、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめながら読んでいる。 【関】進んで、考えを交流している。
まとめ	○全体で交流したことを基に、付け足すポイントを考える。	・ショーウィンドウに書く時に、どこを書き足せばよりわかりやすくなるか考えさせる。	【読】登場人物の行動や会話、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめながら読んでいる。